



Be a gift to the world

2015-16年度 国際ロータリー第2790地区(千葉県)

ガバナー月信

地区行動目標：原点を知り、考える

2015年 **8** 月号

発行/2015年8月1日 VOL.2

COPY FOR MEMBERS

会員増強および拡大月間



サンバカーニバル

サンパウロ国際大会

2015年6月4日から12日まで、5泊9日という非常に変則的な日程でブラジルのサンパウロで行われた国際大会に参加しました。何しろ地球の裏側、日本からは一番遠い所です。行き帰りともアメリカで乗り継ぎで、飛行機に乗っている時間が片道24時間という長旅です。宇佐見ガバナー(当時)を団長として我が2790地区から4グループ20数名の参加でした。国際大会の会場はサンバパレードの待機場らしく、非常に大きな会場です。先ずは地区内クラブからお預かりした信任状の提出です。この信任状が国際大会で決められる多くの議案の採決票になります。そのうちの一つがノミネー(当時)を2016-17年度のガバナーとして選挙(エレクト)する事です。我が地区の青木エレクトもここで晴れてエレクトの称号を得る準備が整いました。

大会初日は開会本会議。14,000脚の椅子が用意された会場は満席、世界の150以上の国や地域からロータリアンが参加しました。ゲイリー・ホアンR I会長(当時)の最後の晴れ舞台です。会長のご家族お孫さんまで約30人の紹介もありました。会員増強に大変に熱心なホアン会長のご家

族の多くがロータリアンだという事です。更に壇上でサンパウロ州知事をロータリーに入会させるなどのいつものパフォーマンスもあり会場は大拍手でした。

2日目も午前中は本会議。世界平和や学校に行けない子供たちに自費で教育を提供する活動などの報告。午後は分科会に。日本の東日本大震災のセッションがあったので参加しました。パネラーは2人の日本のロータリアン。多くの外国人の参加があり、この災害への興味が世界的であることが判りました。次は職業奉仕のセッションへ。パネラーはフィリピン、アメリカ、日本(北R I理事)、などの4人です。世界各国からの参加者がありました。アジアからの参加者が若干多かったようです。職業奉仕は世界でも忘れられていません。結論は職業奉仕とは「四つのテスト」を大事にして商売をする事。世界の職業奉仕は日本とは大分違って非常に単純明快。私の考えとほぼ同じで大いに意を強くしました。

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー櫻木 英一郎
(千葉RC)



ガバナー月信の起源は？

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー 櫻木英一郎
(千葉RC)

■原点を知り、考える

「原点を知り、考える」これを今年の地区行動目標に決めました。物事には皆、その始まりがあります。それを知るだけでなく、それが始まった理由、その時の状況や前後に起きた事を考える事が必要です。考えれば理解が深まります。知るだけで考えなければ理解は深まりません。また考える事によりいくつもの疑問が生じます。その疑問を調べると更に疑問が生じます。このように疑問を追いかけて行くのが勉強です。そして興味です。「原点を知り、考える」はロータリーへの興味を沸かせ、ロータリーは面白くないという風潮をなくす事にもなると思います。

■ガバナー月信の原点は？

さて今月号ではガバナー月信の起源を探ってみます。これをインターネットで随分調べましたが確たる資料は未だに見つかりません。つまり、「原点」が不明です。そこで原点不明のまま次の手段の「考える」を始めます。従来は月信を英語ではGovernor's monthly letterと言いました。Letterだからどうも手紙に関係がありそうです。ロータリーの歴史の中で「手紙」に関する記憶を探ると、ポール・ハリスの手紙を思い出しました。

■原点は手紙か？

1905年にロータリークラブは、アメリカの、東西で言えば中央部のシカゴで誕生しました。その3年後、ロータリーは西海岸に伝播しました。サンフランシスコ、オークランド、シアトル、ロサンゼルスに次々とロータリークラブが誕生しました。次の6番目は今度は一足飛びに東海岸のニューヨークです。次の7番目がボストン。こうして全米の広範囲にクラブが次々に出来ました。さて、当時の各クラブの情報伝達方法は？ラジオ放送が始まって間もないころです。新聞は既に盛んでしたが、まだ数クラブしかない弱小のロータリーがこういうマスコミを使って情報を伝えるのはとても無理でした。それぞ

れのクラブは互いに何百キロ、何千キロの距離にあり、一堂に会する事も出来ません。

■ポール・ハリスの手紙か？

そこでポール・ハリスは自分の考えを伝える為、ロータリーの意思を統一する為に各クラブにせっせと手紙を書きました。多分、その手紙は各クラブの共同代表者たる会長と幹事宛だったと推測します。そして、「これを会員の皆様に伝えて下さい」と添え書きをしたかもしれません。ここまでの推測を交えた歴史的事実=原点を意識しながら、現在の「ガバナー月信」を見てみましょう。Governor's monthly letterが従来の英語の原語です。そして標題部分にはTo club presidents and secretaries (各クラブの会長幹事へ) という文言とCopy for members (会員へのコピー) という文言を必ず入れるのが月信のルールとされています。

■伝統

前述の推測交じりの事実とこの月信の現状とは色々な点で付合します。よって、ガバナー月信の原点はポール・ハリスが各クラブに送った手紙だと考えてもおかしくないと思います。つまり、月信は本来はガバナーが各クラブの会長幹事宛に送るもので、それを各クラブでコピーして会員の皆様に配布してもらうものだったという事です。しかしそれではクラブの作業が大変なので、地区で全会員分を印刷して各クラブにお届けしています。でも上記2つの英文は月信の原点を探るうえで重要であり、これは永劫に残して頂きたいと思います。これが伝統です。

■教えて下さい

しかしながらこの記述には推測が随分混じりました。これが合っているかどうかは判りません。どなたか月信の確たる起源をご存知の方はガバナー事務所にお知らせください。



会員増強について

会員増強・退会防止委員会
委員長 北原 俊彦
(千葉南RC)

会歴が30年近くなる私が最近感じる事は。ロータリアンとしてのプライドが感じられなくなっていることです。では、ロータリークラブ会員としてのプライドとは一体どのようなことを言うのだろうか。私が何故30年近くもロータリークラブに在籍していたのか。他の経済団体やその他の団体と比べて一段と会費が高く寄付も多い。体の拘束も多く、例会の出席は義務である。だが会員の多数は出席をしている。しかし会員の減少は止める事が出来ずにいる。人は一人では生きていけない。そこで各種団体などに所属し活動し、その中に生きがいを見いだしている。各種団体への入会の理由は様々である。一度も例会とか会合に参加せず退会する人もいる。ロータリークラブの話の聞いただけで入会して、数十年も在籍して大きな足跡を残した人もいる。殆どは人と人との繋がりや職業的な結びつきの中で入会して仲間となっていく。ロータリアンとしてのプライドとは一体何なのか。100年も前に設立された時代のアメリカという新しい国の背景は大きく変貌している。最近までは一つのクラブに一業種一人が入会を認められた。職業的にも、人間性も世間から認められた。それがプライドのようになっていたものと思われる。だが現在は入会については大きく違いが存在する。一昔前と比較すると世間の目は昔ほどに認めているようには見えない。この辺の事は自分自身の心の問題であるように思うようにしている。それでも弱者に対する支援活動などに参加出来るのであれば人として自分自身が成長したと自画自賛しても良いと思う。それにしてもここまで入会の扉が大きく開かれている現在でも入会希望者が少ないのは何故なのか。企業として社会的に積極的な参加する姿勢が

欲しいものである。ロータリークラブの委員会の委員長は一年交替することが恒例になっているが、私は今会員増強委員長を二年連続である。そして次年度は2790地区の会員増強・退会防止委員会委員長に推薦されている。3年連続である私は年齢的にも先が短い。好きな趣味の世界に没頭したいと計画が進行していた矢先の推薦であった。地区の役職は初めてのもので、戸惑いが多い。しかし引き受けたからには何としても増強を成功させたい。後には引けない。懸命にやるだけである。そしてすでに増強に対する準備は進んでいる。必ず成功させるとの強い意志が私を奮い立たせている。現在2790地区の会員数は、2760名程である。私は3000名の会勢に戻すべく素晴らしい委員の3名と計画案の整理に日夜奮闘中である。この3～4年は少しずつではあるが会員数は増えている。この勢いを何とかして大きく羽ばたかせていきたい。2790地区会員は全員が会員増強委員となるべく「特別増強委員会」をクラブ内に設置し、目標達成に邁進して戴きたい。能力のある人達の多いロータリアンはその気にさえなれば必ずや仲間を増やしてもらえるものと確信しています。そして豊かな人生を送ろうではありませんか。



地区幹事長に就任して

地区幹事長 梶原 等
(千葉RC)

この度地区幹事長に就任させていただきました千葉RCの梶原 等です。

1年間どうぞ宜しくお願い致します。

さて櫻木英一郎ガバナーがノミニーに就任させて頂いた昨年の5月半ばからガバナーエレクトと次期幹事長として宇佐見ガバナー年度の各セミナーや行事に参加させていただき様々な勉強をさせて頂きました。櫻木ガバナーも私自身もこの第2790地区の中がどのように動いているのか何もわからない状態でのスタートでした。そんな中、宇佐見パストガバナー、始平堂直前幹事長には心温まる沢山のご指導ご助言を頂き今日に至っております。ガバナーと幹事長の卓越したリーダーシップと連携で運営されてきた諸会議の仕切りがはたして一年後に自分にできるのだろうかと不安だらけであった事を思い出します。

時間は少しずつ経過しガバナー補佐の皆さんが誕生し地区組織も固まり始め委員長の皆様も勢揃いした頃にはなんとなく地区組織の在り方が見えてきました。ここまで辿りつくには山田修平研修リーダー、関口徳雄研修サブリーダーはじめ諮問委員である地区内パストガバナーの皆様を支えて頂き今年度の地区組織が完成したのだと思っています。

色々な御縁を頂きロータリーのメンバーになりこの第2790地区の千葉RCに在籍したことにより櫻木英一郎ガバナーを地区幹事長として支えることになりました。

ロータリークラブに入会以来クラブ内の諸先輩や同僚、そして分区内、地区内の素晴らしいロータリアンとの出会いにより自分を磨くことが出来、今この役目を務めさせて頂いております。

ロータリーを通じて自己の職業に対する価値観や考え方がより明確に見えてきました。これからもその意識をもって自身の仕事や業界団体の事などにも改めて積極的に取り組んで行こうと思います。

まだまだ若輩の身でありますのでロータリーや業界団体の諸先輩から学ぶことは沢山あります。職業奉仕の精神で自己の職業に対し真剣に取り組みその

考えや想いを少しでも後輩の方々に伝えて行くことが出来たらと思います。

それがK. R. ラビンドラン会長の示されたテーマの「Be a gift to the world」(世界へのプレゼントになろう)に結びつくのではないかと考えます。

櫻木ガバナーはこの一年間地区組織を作るためにできるだけ幹事団のメンバーに権限を委譲し本来幹事長として取り組むべき仕事に時間をかけるように指導されてきました。私はその意向に真摯に向き合いクラブのメンバーや地区幹事団の方々に協力を頂き3大セミナーを通じてしっかりとした組織を作り上げる事を体験させていただきました。

この組織作りもガバナー年度での貴重な経験であり今後自分のクラブや地区組織に少しずつ落とし込んでいければ将来は素晴らしいクラブや地区へ成長していけると思います。

これも長い目で見れば地域へのプレゼントになる事でしょう。

我々は何のためにロータリーに携わるか?それはこのロータリー精神が好きでありそこに集う仲間が好きであるから携わるのだと思います。ロータリーだけが全てではありません、他にも素晴らしい奉仕活動団体、自己啓発の研修団体など沢山あります。

でもロータリーの「自らの職業を高潔なものとした上で奉仕の精神に向かう」といった他の団体には無い特別な精神があるからでしょう。だからこそロータリーに携わるのでしょうか。

今年度は地区幹事長として、K. R. ラビンドランRI会長のテーマ「Be a gift to the world」(世界へのプレゼントになろう)と櫻木ガバナーの地区行動目標「原点を知り、考える」を第2790地区内の各ロータリアンに伝え、我々がこれからもロータリー精神を持ち続けられる様に地区内のメンバーと共に活動して参ります。

そして微力ではありますが精一杯櫻木英一郎ガバナーを支えて行こうと思います。

第2790地区内メンバーの皆さん1年間どうぞ宜しくお願い致します。



R L I 推進について

R L I 推進委員会
委員長 諸岡 靖彦
(成田RC)

ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) とは、1992年米国ニュージャージー州 (第7510地区) で生まれたロータリアンの知識を啓発し、また将来のロータリークラブの指導者を養成するための全世界の地域と地区の連合体組織です。RLIはロータリーの組織や活動に関して、正しく深い知識を持ち、高い教育的な経験を備えた指導能力を持つロータリアンを支援するために活動しています。RLIは日本におけるロータリー米山記念奨学会と同じ、国際ロータリー (RI) が承認した多地区合同プログラムです。RLI日本支部は第2750地区 (東京)、第2830地区 (青森)、第2770地区 (埼玉南東)、第2710地区 (広島、山口)、第2640地区 (大阪南、和歌山) などを中心に2008年に結成されました。

当地区では、山田ガバナー年度の2011年12月に地区クラブ研修セミナーでRLIの研修方式が採り入れられました。前後して2010年10月から白鳥パストガバナーなど数名の地区メンバーが2750、2770地区のRLIに参加して、ディスカッション・リーダー (DL) 資格を得ました。当地区がRLI日本支部に参加したのは2012-13年度からで、以後当地区のRLIセッションが始まりました。以後3ヵ年度で、当地区内RLI参加者は179名、修了者は111名、DL認定者は40名となっています。

RLI推進委員会の今年度の事業課題は、

1. 所定のパート I、II、III の各セッションと任意参加の卒後コースの実施
2. 各セッションの進行を担当するDLの養成と、そのスキルアップ事業の実施
3. ロータリアンのリーダーシップを高め、創造的な奉仕活動を進めてゆくRLIの普及
実行方針は

1. RLIの仕組と有効性を伝え、アクティブなロータリアンの裾野を拡げる
2. 実行計画を早い段階で確定させて、粛々と各セッションを実行する
3. RLIが地区内でいまだ十分な理解を得られていない状況を改善する
今年度の活動成果(目標)は

1. パート I、II、III の修了者 60名以上
2. DLの今年度技能認定者 20名程度養成する
3. 地区内での (少人数、コの字着座スタイル) による研修セミナー実行回数を増やす

日本のロータリーの現況は会員数がやや盛り返しつつあるようですが、当地区においても会員増強とクラブの活性化が叫ばれています。3年以内にロータリーの魅力を知らずして退会するケースも多いと聞いています。RLIはロータリーの本質を求め、ロータリーライフを楽しむためにロータリーを学習する機会を提供します。社会の変化を認め、多様性を尊重し、高潔性を高めてゆこうとしている献身的なロータリーの奉仕のネットワークを広げてゆく人材づくりのためには、相互啓発と他クラブのロータリアンとの交流が容易にできる<RLIの出会いの場>はきわめて魅力的です。

RLIの学習の場で個のロータリアンの自分磨き＝創造的リーダーシップから始めて、クラブの創造的な奉仕活動に進め、地域から世界に奉仕のネットワークを拡げて、あなたのロータリー世界を豊かなものにしてゆきましょう！

今年度RLI推進委員会の構成

関口 徳雄 (浦安)
(地区研修サブリーダー兼任)

委員長 諸岡 靖彦 (成田) :
y-morooka@nagomi-yoneya.co.jp 090-8109-5507

副委員長 遠藤 平 (千葉西) :
number-9@sea.plala.or.jp 090-4414-9296

委員 清田 浩義 (千葉) :
kiyota@fujiseiko-net.co.jp 090-7843-7553

DL (ディスカッションリーダー) 養成講座

日時 8月8日 (土) 13時～17時

会場 千葉市文化センター

対象者 前年度までにRLIパート I、II、IIIまで修了した方



国際ロータリー第2790地区 インターアクトクラブ一覧

学 校 名	提唱RC	創 立 年 月 日	郵便番号	学 校 所 在 地	T E L
					F A X
成 田 高 等 学 校	成 田	1963(S38).11.28	286-0023	成田市成田27	0476-22-2131 0476-23-0234
木更津総合高等学校	木更津東	1964(S39).10.28	292-8511	木更津市東太田3-4-1	0438-30-5511 0438-30-5630
千葉県立千葉商業高等学校	千 葉 西	1965(S40).12.01	260-0044	千葉市中央区松波2-22-48	043-251-6335 043-255-8580
千葉県立大原高等学校	大 原	1966(S41).02.12	298-0004	いすみ市大原7985	0470-62-1171 0470-63-9772
千葉県立茂原樟陽高等学校	茂 原	1966(S41).10.01	279-0019	茂原市上林283	0475-22-3315 0475-22-3999
千葉県立館山総合高等学校	館 山	1967(S42).09.30	294-8505	館山市北条106	0470-22-2242 0470-23-1046
千葉県立安房拓心高等学校	千 倉	1969(S44).04.06	299-2795	南房総市和田町海弁1604	0470-47-2551 0470-47-4868
千葉経済大学附属高等学校	新 千 葉	1983(S58).06.27	263-8585	千葉市稲毛区轟町4-3-30	043-251-7221 043-284-0124
愛国学園大学附属四街道高等学校	四 街 道	1984(S59).01.26	284-0005	四街道市四街道1532-16	043-421-3533 043-421-3534
千葉黎明高等学校	八 街	1985(S60).02.01	289-1115	八街市八街ほ625	043-443-3221 043-443-3443
文理開成高等学校	鴨 川	1994(H06).04.26	296-0001	鴨川市横渚815	0470-92-0267 0470-92-0260
聖徳大学附属女子高等学校	松 戸	1995(H07).04.22	270-2223	松戸市秋山600	047-392-8111 047-392-8116
東海大学付属望洋高等学校	市原中央	2002(H14).12.17	290-0011	市原市能満1531	0436-74-4721 0436-74-5266
市原中央高等学校	市 原	2007(H19).12.15	290-0215	市原市土宇1481-1	0436-36-7131 0436-36-7141



国際ロータリー第2790地区 ローターアクトクラブ一覧

ク ラ ブ 名	提 唱 R C	創 立 年 月 日	会 員 数	例 会 場
館山ローターアクトクラブ	館 山	1970.05.06	6人	たてやま夕日海岸ホテル
船橋西ローターアクトクラブ	船 橋 西	1972.10.08	休会中	
柏ローターアクトクラブ	柏・柏西・柏南	1975.06.29	休会中	
習志野中央ローターアクトクラブ	習志野中央	1992.04.19	6人	サンロード津田沼5階特別会議室
船橋東ローターアクトクラブ	船 橋 東	1992.06.07	休会中	
茂原ローターアクトクラブ	茂原・茂原東・茂原中	2007.01.10	6人	茂原卸商業団地事務所
千葉科学大学ローターアクトクラブ	銚子・銚子東・旭	2007.11.25	11人	大学内マリナーキャンパス講義棟2102室
市原中央ローターアクトクラブ	市 原 中 央	2010.06.19	8人	八幡塾 春(市原中央RC大倉様)

ロータリー通解（その1）

ロータリー理念研究委員会
副委員長 平山 勝己
(千葉若潮RC)

ガイ・ガンディカーのロータリー通解(A Talking Knowledge of Rotary) に、ナサニエル・ホーソンの気高き岩頭(The Great Stone Face) が紹介されている。この物語を私は小学生の時の教科書で読んだ記憶がある。

私の記憶の中のこの物語は次のような内容だった。

〈山間の谷間に大きな人の形をした崇高な岩がある。インディアンの言い伝えにこの地域にいつか偉大な人物が現れ、その人の姿はこの岩そっくりになるといふ。〉

この言い伝えを謙虚で素直な心を持つ村の少年アーネストは信じこの岩を毎日眺め、岩と会話し、岩と思感して成長していく。

あるとき偉大な人物が現れ、この岩そっくりだといわれる。しかし時の経過とともにその人もいつか忘れられ、そのような人物が現れては消えていく。

アーネストは真に偉大な人物が現れるのをこの岩を見つめながらじっと待つ。そのうち彼の内面も成長し、善と愛に満ちた彼の言葉は村の人から尊敬され、村の人からアーネストこそ崇高な岩そっくりだといわれるようになる)

このロータリー通解は1916年に著されているが、当時のロータリアンのロータリーに対する情熱を知ろうと重要である。

ガイ・ガンディカーはこの冊子の中でロータリークラブとは〈ロータリークラブの会員を真のロータリアンに改善すること〉と書いている。

気高き岩頭のアーネストをロータリアンの理想的なモデルとして登場させている。

また米山梅吉も〈ロータリーの例会は人生の道場である〉、それにポールハリスの〈会員の人格の向上〉それらの言葉はロータリーを修練の場としてとらえている。

今のロータリーは5年のうちに100万人入会し、

100万人退会していると聞いている。もしそれが事実であれば、変化の激しい組織であり、不安定な組織でもある。

ロータリーの財産は〈ロータリー会員〉である。その貴重な財産を組織として地道に育てていく。根気よく育てていく。時間をかけて育てていく。指導者に育てていく。

ロータリーはそのような考え方を組織運営の基本としてきたのであろうか？それは違うような気がする。

組織が大きくなり個人よりも団体が重要視されるにつれて〈修練の場〉としてのロータリーなど必要なくなってきたからかもしれない。

ガイ・ガンディカーの〈ロータリークラブの会員を真のロータリアンに改善すること〉この言葉は初期のロータリアンが見た夢または幻想であったとしか思えない。

しかしそれは楽しい夢だったに違いない。

ロータリー理念研究委員会では皆様のご意見を求めています。

※参考文献

ロータリークラブ—その理論と実態と批判—

小堀憲助著

ロータリー通解 ガイ・ガンディカー著

小堀憲助 訳並びに解説

THIS ROTARIAN AGE PAUL P・HARRIS

米山梅吉訳

気高き岩頭 源流の会副会長 塚原房樹著

第2790地区ロータリー理念研究委員会

海寶勘一(千葉西) 平山勝己(千葉若潮)

大内 啓(柏南) 島 正彦(館山) 松田泰長(成田)

ガバナーノミニー（2018-19年度ガバナー）候補者推薦のお願い

2015-16ガバナー 櫻木英一郎
地区指名委員会委員長 得居 仁

国際ロータリー細則第13条（13.20.4）に基づき、ガバナーノミニー（2018-19年度ガバナー）推薦書の提出をお願いいたします。クラブで推薦する会員がいる場合には2015年9月30日までにガバナー事務所気付 指名委員会へメールにてご提出ください。推薦書式は、7月30日にクラブ宛てにメールで送付いたしました。

推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事がその決議を証明する形で推薦書をご提出ください。最終的に指名が決定した人は、本年度はガバナーノミニー・デジグネイトと呼ばれます。

尚、ガバナー指名委員会がその選出を行うに当たっては、その選出の範囲は地区内クラブによって推薦された候補者に限定されるものではありません。（国際ロータリー細則第13.020.5項）

ガバナーノミニーの資格条件は、国際ロータリー細則15.070項をご参照ください。

コーディネーターニュース2015年8月号（2015年7月13日配信）

2015-16年度 RPIC目標

第1ゾーン RPIC 渡辺 敏彦

ラビンドランR I会長が、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）に対して、2015-16年度の目標を提示されました。

我々も、それを実現すべくゾーン毎に（日本は第1ゾーン・第2ゾーン・第3ゾーン）各地区とコミュニケーションを十分にとって公共イメージの向上に努力したいと思います。以下にその目標の概要を記します。

<目的>

RPICは、クラブと地区に対し、情報や広報、マーケティングにおける高度な支援を提供し、さらに地区やクラブのロータリアンが地域の方々にロータリーのストーリーを伝えるための研修を支援します。ロータリーのストーリーを最も効果的に伝えるのは、クラブが実施しているボランティア活動です。RPICの活動はその広報に重点を置く必要があります。

<RPICの優先事項>

- ・地元メディアによる報道の推進
- ・ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進
- ・デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

地元メディアによる報道の推進

以下の項目に関する個別の報道を実現する

- ・奉仕プロジェクト
- ・地元クラブによる恩恵を受けた人々や団体の紹介
- ・地元での行事／募金活動
- ・ポリオ撲滅又は6つの重点分野
- ・交流／ネットワークづくりの機会

ビジュアルアイデンティティとボイスの導入促進

- ・6割のクラブが、ウェブサイトやソーシャルメディア、出版物（パンフ・推進資料等）において、ロータリーのビジュアルアイデンティティとボイスを導入するようにする。
- ・地区レベルで実際に導入しているクラブを紹介し、他クラブを啓蒙する。

デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

- ・「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドを活用し、ソーシャルメディア研修キットを配布し、その活用を奨励する。

※上記のRPIC目標を実現するために、我々RPICは各地区には様々な協力をお願いしてまいりますので、宜しくお願い致します。

～今月のトピックス～

- ・2014-15年度寄付金結果 — 14億円を達成しました —
- ・学友から3人目のガバナーが誕生！
- ・第1回よねやまフォトコンテスト入賞者発表
- ・ネパール大地震義援金についてのご報告

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight184_pdf.pdf

《今月のピックアップ記事》

学友から3人目のガバナーが誕生！

第3520地区(台湾)の2015-16年度ガバナーは米山学友の林華明さん(1984-86/東京世田谷RC/現:台北市東門RC会員、ロータリーネーム: Venture)です。同地区は135クラブ、5,800人以上の会員がいます。

ガバナーになった米山学友は林さんで3人目。

林ガバナーから日本のロータリアンへメッセージをいただきました。

「日本ロータリアンの皆様へ。台湾台北3520地区ガバナーのベンチャー林です。どうぞよろしくお願いいたします。

1984-86年に慶應義塾大学大学院で勉強していた際に、米山奨学金のお陰で、無事に卒業ができました。その時の世話クラブは、東京世田谷RC、カウンセラーは白山さんでした。今でも白山さんご家族とは常に連絡しています。

日本のロータリアンの皆様に感謝致します。

米山奨学金から学んだ「施」と「受」の「善の循環」こそ、ロータリー精神と思います。今後とも皆様のご指導をよろしくお願い致します」

文庫通信(334号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(2)

- ◎「私のロータリー」 森三郎 1992 198p
- ◎「日常語で、ロータリー」 森三郎 1995 20p
- ◎『「今 ロータリーが忘れていた事」 関西ロータリー研究会第55回例会記録』 森三郎:講師 1999 112p
- ◎「アイウエオ!!-ロータリーの心と人生のイロハ-」 小林 博 [2002] [4p]
- ◎「ロータリーとは何か(ロータリー入門)」 松崎勝一 2005 11p
- ◎「ロータリーの歴史〈75年の歩みを振り返る〉」 梶原景親 福岡西R.C. 1980 53p
- ◎「ロータリーの奉仕哲学」 梶原景親 福岡西R.C. 1983 40p
- ◎「ロータリー讀本」 梶原景親 福岡西R.C. 1984 143p
- ◎「ロータリアンの特典と義務について 改訂版」 麻植 晃 徳島南R.C. 1998 18p
- ◎「会員増強について考える」 鳴海淳郎 [2000] 8p

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付 年次寄付(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



鳥飼 三津男
(習志野R.C.)
10回目



石井 賢徳
(習志野R.C.)
6回目



鎌野 勝一
(松戸東R.C.)
3回目



山本 雅章
(船橋西R.C.)
3回目



安藤 正義
(東金R.C.)
3回目



寒部 茂樹
(富里R.C.)
3回目



高山 友二
(東金R.C.)
2回目



高橋 邦夫
(東金R.C.)
1回目



小久保良行
(東金R C)
1回目



吉田 稔
(成田R C)
1回目



岡島 昭信
(柏西R C)
1回目

(ポール・ハリス・フェロー)



川野 大介
(船橋西R C)



武藤 一成
(千葉幕張R C)



野口 雅子
(東金R C)



澤村 昌樹
(東金R C)



岩井 和徳
(富里R C)



岡野 耕平
(富里R C)



住田みゆき
(柏西R C)

恒久基金 (ベネファクター)



飯島 俊一
(袖ヶ浦R C)

米山功労者



小林 通成
(習志野R C)
14回目



鳥飼三津男
(習志野R C)
12回目



由川 久子
(習志野R C)
6回目



石井 賢徳
(習志野R C)
5回目



斎田 隆
(習志野R C)
4回目



酒井 秀光
(茂原R C)
3回目



高橋 邦夫
(東金R C)
1回目



諸岡 正徳
(成田R C)
1回目



渡辺 孝治
(松戸西R C)
1回目



関口 貴之
(松戸西R C)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



高山 公子
(八千代中央R C)
葬祭業
2014年8月2日
入会



高田 丈
(松戸中央R C)
外科医
2015年1月29日
入会



小熊 祐子
(松戸中央R C)
デリバリー
2015年2月5日
入会



霞末みち代
(松戸中央R C)
建物清掃
2015年3月5日
入会



上間 悟
(浦安R C)
解体業
2015年4月19日
入会



山下 厚
(富津中央R C)
獣医師
2015年4月23日
入会



吉村 博
(松戸中央R C)
税理士
2015年5月14日
入会



中村 亮
(船橋西R C)
弁護士
2015年5月29日
入会



血脇 敏行
(白井R C)
大学非常勤講師
2015年6月1日
入会



黛 孝夫
(浦安R C)
ホテル
2015年6月19日
入会



筒井与志男
(船橋西R C)
保健代理店
2015年6月26日
入会



伊藤亮一郎
(野田R C)
商業銀行
2015年6月29日
入会



白島 智子
(野田R C)
介護施設
2015年6月29日
入会



濱田 孝司
(野田R C)
醤油醸造
2015年6月29日
入会



大内 一恭
(銚子東R C)
タクシー業
2015年6月30日
入会



内藤 定雄
(千葉若潮R C)
不動産管理
2015年7月2日
入会



小金澤庸晃
(千葉若潮R C)
保険代理
2015年7月2日
入会



田久保毅彦
(船橋R C)
百貨店
2015年7月7日
入会



松田 和哲
(四街道R C)
弁護士
2015年7月7日
入会



清宮 満巖
(大網R C)
建設業
2015年7月8日
入会

R I 第2790地区 (千葉) 2015年6月出席・会員数報告

分区分	クラブ名	出席率 %	例数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第1分区分	市川	100.00	4	39	0	39	0	0
	市川東	100.00	5	41	0	41	0	0
	市川南	79.00	4	17	2	16	2	△1
	浦安	86.30	4	33	0	35	1	2
	市川シビック	81.71	5	34	0	36	0	2
	浦安ベイ	78.13	4	15	0	16	0	1
第2分区分	船橋	88.33	5	23	0	23	0	0
	船橋西	89.80	4	41	5	41	6	0
	鎌ヶ谷	95.45	4	26	2	29	2	3
	船橋東	79.14	4	28	2	28	1	0
	船橋南	84.09	4	20	4	13	2	△7
	船橋みなと	80.95	4	20	5	17	4	△3
第3分区分A	千葉	91.12	5	66	1	66	1	0
	新千葉	82.03	4	43	0	50	0	7
	千葉西	91.08	5	63	5	59	4	△4
	千葉中央	82.64	4	34	0	37	0	3
	千葉幕張	74.76	4	37	3	35	2	△2
	千葉東	74.79	5	31	4	31	3	0
第3分区分B	千葉若潮	77.78	3	29	2	30	1	1
	千葉南	69.12	4	49	6	49	6	0
	市原	64.20	4	42	2	41	2	△1
	千葉港	77.71	4	26	1	21	2	△5
	市原中央	81.01	4	50	2	47	2	△3
	千葉北	75.50	4	23	2	21	1	△2
第4分区分	千葉緑	76.44	5	26	3	25	3	△1
	木更津	70.37	3	34	3	27	3	△7
	上総	68.06	4	18	0	17	0	△1
	富津	85.70	4	14	0	13	0	△1
	富津中央	81.33	4	24	1	26	1	2
	木更津東	89.80	3	40	0	42	0	2
	君津	93.90	4	39	1	43	1	4
	袖ヶ浦	91.30	5	21	3	23	3	2
第5分区分	富津シティ	66.70	4	14	1	15	1	1
	館山	84.97	4	59	3	56	3	△3
	鴨川	90.71	5	35	7	32	7	△3
	勝浦	93.18	4	36	5	33	4	△3
	千倉	63.33	3	10	1	10	2	0
	鋸南	87.50	4	14	1	14	1	0
第6分区分	館山ベイ	73.90	4	20	0	20	0	0
	茂原	94.47	4	57	3	64	3	7
	東金	96.07	3	21	1	22	1	1
大原	70.75	4	19	3	12	1	△7	

分区分	クラブ名	出席率 %	例数	会員数				
				7/1	女	当月	女	増減
第6分区分	大多喜	66.66	4	7	1	6	1	△1
	成田空港南	83.67	4	35	0	37	0	2
	茂原東	85.71	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	83.50	4	14	2	13	2	△1
	大網	76.07	4	29	1	29	1	0
	東金ビュー	76.10	4	25	1	20	1	△5
第7分区分	銚子	87.58	4	42	4	44	4	2
	旭	72.09	4	43	2	43	2	0
	八日市場	88.15	4	40	2	38	2	△2
第8分区分	銚子東	84.97	4	39	2	39	2	0
	佐原	89.40	3	44	0	47	0	3
	多古	78.85	4	14	0	14	0	0
第9分区分	小見川	92.04	4	21	0	22	0	1
	佐原香取	89.36	5	27	0	25	1	△2
	成田	84.00	4	66	1	61	0	△5
第10分区分	八街	80.04	4	30	1	30	1	0
	印西	74.24	4	24	0	23	0	△1
	白井	74.78	5	17	0	23	0	6
	富里	76.26	4	27	0	27	0	0
	成田コスモポリタン	71.76	4	70	0	69	0	△1
	柏	84.20	4	49	9	51	10	2
第11分区分	我孫子	78.12	5	26	1	24	1	△2
	柏西	84.52	4	59	4	62	5	3
	柏東	97.54	3	28	3	29	3	1
	柏南	85.00	4	32	5	32	5	0
	習志野	79.37	4	28	1	27	1	△1
	八千代	88.50	4	46	0	46	0	0
第12分区分	佐倉	73.61	4	17	2	18	2	1
	八千代中央	89.20	3	27	0	28	1	1
	四街道	82.34	5	25	3	23	2	△2
	習志野中央	80.40	4	48	5	47	6	△1
	佐倉中央	63.15	4	18	3	19	4	1
	松戸	86.76	4	56	0	57	0	1
第13分区分	松戸東	89.86	4	48	0	46	0	△2
	松戸北	81.36	5	37	0	37	0	0
	松戸中央	78.69	4	31	1	39	6	8
	松戸西	80.00	4	24	0	30	0	6
第13分区分	野田	78.50	5	55	5	58	8	3
	流山	78.13	4	16	4	16	4	0
	野田東	83.87	4	31	0	31	0	0
	流山中央	76.20	4	22	0	22	0	0
野田セントラル	85.06	4	24	0	24	0	0	

物故会員 (敬称略)



有倉 順良 (柏RC)
 逝去日: 2015年2月4日 (享年88歳)
 入会日: 1995年5月17日
 2003-2004 クラブ会長



土屋 武次 (千葉南RC)
 逝去日: 2015年5月31日 (享年91歳)
 入会日: 1969年6月6日
 1985-1986 クラブ会長

クラブ数 84RC
 2014年7月1日地区会員数 2,714人
 2015年5月末日地区会員数 2,713人
 2014年7月1日地区女性会員数 149人
 2015年5月末日地区女性会員数 153人
 当月平均出席率 83.08%
 増減 -1
 女性会員増減 +4



小仲 志朗 (柏東RC)
 逝去日: 2015年6月13日 (享年90歳)
 入会日: 1976年5月20日
 1982-1983 クラブ会長



深山 一郎 (成田RC)
 逝去日: 2015年6月24日 (享年79歳)
 入会日: 2008年6月1日

8月のロータリーレート
124円

広報のひろば

みなさん、こんにちは♪突然ですがみなさんは“マイロータリー”のアカウントをお持ちですか？今月号はアカウントの取得マニュアルを掲載します。ソウル国際大会の登録にもマイロータリーのアカウントが必要になります。ぜひこの機会にご登録ください。

「My Rotary」アカウント登録方法



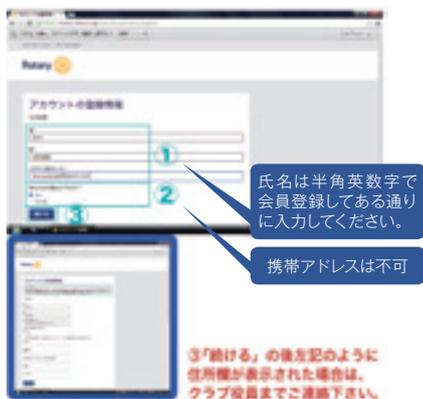
1 「My Rotary」をクリックします。



2 「ログインする/アカウント登録」をクリックします。



3 「アカウントを作成」をクリックします。



4 ①氏名・メールアドレスを入力し、②「はい」にチェックを入れて、③「続ける」をクリックします。



5 上記の画面が表示されたら「国際ロータリー」から登録したメールアドレスにメールが届きます。

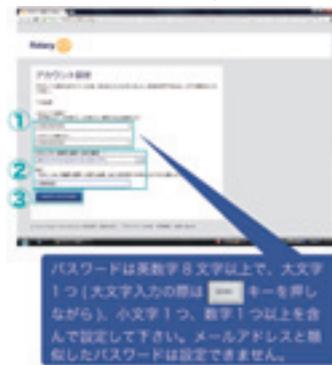


6 登録したメールアドレスの受信箱を開き、届いたメールをクリックします。

受信箱の一例です。



7 「ロータリーウェブサイト：登録完了まであと少しです」というメールが届くので、文中の「アカウントを有効にする」をクリックします。



8 ①ご希望のパスワードを設定し、②「セキュリティ保護用の質問」を一覧から選び、「答え」(4文字以上)を入力します。次に③「CREATE ACCOUNT」を一回だけクリックします(ダブルクリックすると2回登録されます)



9 ①「はい」と②「REMEMBER ME」にチェックを入れて、③「CONTINUE/SIGN IN」をクリックします。これでアカウントの登録完了です。

このページは地区IT広報公共イメージ委員会
で担当しています。何かございましたら気軽
にご連絡ください♪

090-1453-5825 委員長 大谷京子
kyoko@ohkei.co.jp



地区IT広報公共イメージ委員会のFacebookを
開設しました。